



中央第二児童クラブ

出前授業レポート

「どの子どもも、楽しい時間を過ごすことができました。」

中央第二児童クラブが、春休みに古代を体験する活動の中で、普段出来ない体験を楽しむことを目的に、2年生4人、3年生4人、4年生5人、5年生9人、6年生2人が、火起こしと勾玉作りの2つの体験を行いました。

「翌日、腕が痛くなった。」

火起こし体験

静岡市民文化会館と静岡市中央体育館の間にある公園で火起こし体験を行いました。やったことがある子もいましたが、やったことがない子の方が多かったので、もみきり式や弓きり式、舞いきり式等、火起こしにもいろいろな方法があることを伝えました。



「3分で火がついて早いと思った。」

「思ったより大変だった。」

火が起こしやすい舞いきり式でデモンストレーションをしながらやり方の説明をしました。次はいよいよ子どもたちが火起こしに挑戦です。弾み車を上手く回せるグループは、とても早く火を起こすことができました。低学年の子は、押す力が弱いので、弾み車は回りますが、火種にならず苦労していました。それでも、みんなで力を合わせて火を起こすことができました。火が起きたときはうれしそうにしていました。

勾玉作り体験

勾玉作りは、2回目の子もいましたが、初めての子もいたので、勾玉の形や使い途など勾玉について簡単に伝えました。その後、3枚の紙やすりの使い方を説明し、粗い紙やすりで石を削り始めました。同じ所を勢いよく削り過ぎて、小さくなってしまいう子もいました。

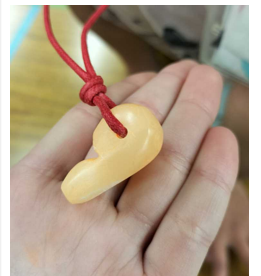


「形を作るのがむずかしかった。」

「今回は、色を着けられてよかった。」

「削りすぎて小さくなってしまった。」

低学年の子は、削るのを頑張っていました。途中から飽きてしまい、指導員の先生やセンター職員に手伝ってもらい形を作っていました。形が出来ると、第2段階の細かい紙やすりで表面の傷を取って、第3段階の紙やすりでつやを出しました。つやが出てくると、やる気が増えて、さらに磨きを頑張りました。最後に蛍光ペンで色を着けて、紐を縛り出来上がりです。世界で一つだけの勾玉ができると、首からさげてとてもうれしそうでした。



指導員の感想

「できればセンターを訪問していろいろな体験をさせたいのですが、出前授業でも楽しい体験が出来、満足しています。勾玉作りは、以前体験しましたが、子どもたちのリクエストが多く今回もお願いしました。火起こしは出前では無理かと思いましたが、実施することができて良かったです。高学年が多いので盛り上がっていました。職員さんには、打合せの時から丁寧にご対応いただきありがとうございました。どの子どもも楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。」

